

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城観光誘客強化事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳						
会計情報	事業コード	650381	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	09 文化振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	020703	施策名	文化施設を整備する												
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針										
根拠法令等	福知山城天守閣条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市シンボルである福知山城の魅力を再確認して、市内外に発信し、市民の愛着と誇りを育み、知名度アップやイメージ向上を図る。 大河ドラマの放送決定を受け、多くの来場者が見込まれるため、環境整備を図る。						
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	39,563		27,961		0		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	39,563		27,961		0							
予算財源内訳	① 一般財源	3,732		0		0							
	② 国支出金	7,581		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	24,000		0		0							
	⑤ その他特財	4,250		27,961		0							
決算情報	① 流充用額	△ 7,167		△ 6,405		0		0					
	② 配当予算	32,396		21,556		0		0					
	③ 執行額	27,519		17,509		0		0					
	④ 執行率	84.9%		81.2%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.38	/	0.10	0.44	/	0.10	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,290		3,770		0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		30,809		21,279		0		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山城観光誘客強化事業(きょうと地域連携交付金)		種類	総務費府補助金		実績金額	6,588	決算付属資料	26	頁	
			福知山城観光誘客強化事業基金繰入(地域振興基金)			基金繰入金			6,928		38		
			福知山城観光誘客強化事業基金繰入(福知山城天守閣整備基金)			基金繰入金			2,372		42		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入館者数	人	40,072/38,000	101,238 / 50,000	109,189 / 100,000	/ -	100,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	287/310	313 / 323	304 / 365	/ -	365
	単位あたりコスト		62.2	87.9	57.6		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	「福知山光秀ミュージアム」の開催に合わせて、重要資料の展示などを行い、多くの来館者に観覧いただいた。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	重要資料を展示する年間計画に併せて、資料運搬、展示作業を専門業者に一括で発注することで、展示替え等効率的に進めることができた。また、図書等印刷物等の作成についても、タイミングを逸することなく発注し来館者に提供できた。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	来館者に適切な施設環境を整えるとともに安心・安全な施設運営を進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	重要資料の展示を行うため、専門業者による運搬の実施や、出版物の作成など「福知山光秀ミュージアム」の魅力向上を図り、ひろく福知山市のPRを行うことができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成28年度に天守閣再建30周年を迎え、施設が老朽化している部分について修繕・改修等を進めているが、今後10年20年先を見据えた維持管理を行っていく。「福知山光秀ミュージアム」終了後、展示パネル等を福知山城へ移設し、引き続き見学できるようにしたため、引き続きPRにつとめ集客につなげていく。令和2年度で完了。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

事業属性

事業名	新町文化センター資料移転事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	650352	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本計画・福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	文化財保護法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新町文化センターの施設廃止、建物の京都銀行返却を見据え、収蔵資料を整理・移転する。				
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,000		2,100		0		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	4,000		2,100		0							
予算財源内訳	① 一般財源	4,000		2,100		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 526		△ 767		0		0					
	② 配当予算	3,474		1,333		0		0					
	③ 執行額	3,474		1,165		0		0					
	④ 執行率	100.0%		87.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.17	/	0.00	0.17	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	1,360		1,360		0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,834		2,525		0		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	資料の移転	%		60 / 60	40 / 40	/	100
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	資料の移転	%		60 / 60	40 / 40	/	100
	単位あたりコスト			57.9	29.1		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市で収蔵している民俗資料等を継続的に保管していく必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	資料の移転作業を専門業者に委託するとともに、資料を運搬する際の梱包を必要最小限にするなどの工夫をすることで、コストや効率性を担保している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	令和元年度と2年度の2か年で移転する計画にもとづき、予定どおり移転できた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度と2年度の2か年で移転させる計画としており、計画通り資料の移転を完了した。これにより移転した資料を継続して保管することができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	移転した収蔵資料の整理、活用などについて検討していく必要がある。活用方法としては、所管施設や市役所庁舎ロビーなどでの展示や小・中学校の学習活動への協力、収蔵施設でのバックヤードツアーなどが考えられる。令和2年度で完了。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	体育施設設備整備事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650337	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	248	頁
施策体系	施策コード	020802	施策名	スポーツ施設を整備する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	体育施設の維持保全と機能充実により、施設利用者の利便性と安全性の向上を図ることを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	12,331		2,000		16,540		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	12,331		2,000		16,540							
予算財源内訳	① 一般財源	4,631		900		4,127							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	5,700		0		9,000							
	⑤ その他特財	2,000		1,100		3,413							
決算情報	① 流充用額	△ 2,548		191		0		0					
	② 配当予算	9,783		2,191		0		0					
	③ 執行額	7,814		2,191		0		0					
	④ 執行率	79.9%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.24	/	0.00	0.22	/	0.00	0.22	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,920		1,760		1,760		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,734		3,951		1,760		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ネーミングライツ料他		種類	雑入		1,100		決算付属資料	44		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	所管体育施設利用者数	人	199,609/230,000	184762 / 230000	139092 / 230000	/ 570000	570000
	(R3より三段池・長田野公園のスポーツ施設を含む)			/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	改修・修繕実施施設数	事業	4/3	2 / 2	4 / 1	/ 2	3
	単位あたりコスト		2162.8	3907.2	547.8		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	多様化するスポーツニーズに対応した機能向上と、施設老朽化に伴う維持保全は必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・改修工事等の執行にあたっては、競争入札等を採用し、競争の原理のもと適正に実施している。 ・対象とする施設についても福知山市スポーツ推進計画及び福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき選定している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	施設整備により、利用者の利便性の向上と安全確保を図ることができるとともに、機能性向上による大規模大会の誘致にも有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	三段池公園テニスコートの整備により、「全日本実業団ソフトテニス選手権大会」や「全日本シニアソフトテニス選手権大会」などを開催した。また、利用者も増加傾向にあり、施設利用者のニーズに沿った整備となった。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化や市内各地に点在する多くのスポーツ施設の機能集約や利活用についての検討が必要であり、本市スポーツ推進計画及び公共施設マネジメントに基づき、効率の良い施設の維持管理修繕が必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	体育施設維持管理事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650323	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	248	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	体育施設の適切な維持管理により、市民ニーズに即した安心・安全なスポーツ環境を提供する。				
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	48,921		45,719		105,361		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		315		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		48,921		46,034		105,361							
予算財源内訳	① 一般財源	45,051		42,287		101,808							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	3,870		3,747		3,553							
決算情報	① 流充用額	444		73		0		0					
	② 配当予算	49,365		46,107		0		0					
	③ 執行額	48,978		46,107		0		0					
	④ 執行率	99.2%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.82	/	0.00	0.67	/	0.00	0.67	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	6,560		5,360		5,360		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		55,538		51,467		5,360		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	鹿倉運動公園他使用料			種類	教育使用料	実績金額	1,698		決算付属資料	12		頁
		自動販売機設置貸付収入(温水プール)他				財産貸付収入		833			34・36		
		ネーミングライツ料他				雑入		1,409			44		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	指定管理施設利用者数	人	170,185/200,000	146114 / 200000	96124 / 200000	/ 540000	200000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	指定管理施設数	施設	6/6	6 / 6	6 / 6	/ 12	3
	単位あたりコスト		16180.0	16326.0	7684.5		
				/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	体育施設の適正かつ安心・安全な利用に向けて必要な事業であり、主要施設は、指定管理者制度を導入し民間事業者により運営している。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	指定管理者制度により、効果的・効率的に運営している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市民のスポーツ環境を把握するために施設利用者数を計上することは適当である。また、利用者数も指定管理者により適正に把握されている。 ネーミングライツを導入するなど認知度を高めてきた。 団体の定期的な利用があるなど施設の有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	適切に施設の管理運営を行っており、開館時間の柔軟な対応等、ニーズに即して対応もされており、利便性も向上し、利用件数・利用者数についても一定の成果があった。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市スポーツ推進計画に基づき、効率性の高い施設の管理運営手法についても検討することが必要である。令和3年度より新たな枠組みとして三段池公園内のスポーツ施設も加え、主要なスポーツ施設を総合的に管理運営していくこととする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	新町文化センター管理運営事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	650321	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本計画・福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与する。 三階・四階部分は文化資料を所蔵している。					
対象者	市民、施設利用者(市内を対象)		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	4,722		2,884		0		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
小計(①～③)		4,722		2,884		0					
予算財源内訳	① 一般財源	4,517		2,884		0					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	205		0		0					
決算情報	① 流充用額	559		494		0				0	
	② 配当予算	5,281		3,378		0				0	
	③ 執行額	5,281		3,228		0				0	
	④ 執行率	100.0%		95.6%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.19	/	0.00	0.20	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00
	② 概算人件費	1,520		1,600		0				0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,801		4,828		0				0	
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類	実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	利用件数	件	438/600	377 / 600	- / -	/ -	-
	施設利用人数	人	3,641/5,500	3118 / 0	/	/ -	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	290/300	277 / 300	- / -	/ -	-
	単位あたりコスト		18.7	18.2			
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	資料の収蔵と、災害時の避難所として指定されており、最低限の施設管理を行う必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	賃借料等維持管理費の支出に見合った効率的な運営を図っているが、使用対象が限定されるため、効果は限られている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	機械警備や、消防設備等最小限の維持管理を行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本施設は令和元年度をもって廃止となった。令和元年度までの開館時は施設の耐震化がされていない等の事情から活用を制限している部分があるが、文化協会に所属する団体を中心に市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与するという設置目的について、一定の目的を果たしてきた。 廃止後は資料の保管場所として利用している。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度末に新町文化センターを廃止した。以降は資料の保管場所として利用。 令和2年度に丹波生活衣の資料は、三和町の文化財収蔵庫に移動した。 ポッポランドの資料は引き続き保管しているため、令和2年度末に不動産賃貸借契約を延長、令和3年度より産業観光課で所管する。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	厚生会館管理運営事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳						
会計情報	事業コード	650318	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	09 文化振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	80・82	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する												
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本計画・福知山市文化振興基本方針								
根拠法令等	福知山市厚生会館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の文化、厚生、産業などの向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、利用促進と情報発信を行う。市民に芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供し、市民文化の向上につなげる。多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持する。厚生会館の利用促進及び文化の拠点としての充実を図り、地域の文化振興を図る。				
対象者	施設利用者(出演者、入場者など市内外を問わず)	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	17,547		14,387		15,938		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		17,547		14,387		15,938							
予算財源内訳	① 一般財源	2,699		3,859		5,426							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	14,848		10,528		10,512							
決算情報	① 流充用額	1,430		△ 328		0		0					
	② 配当予算	18,977		14,059		0		0					
	③ 執行額	18,973		13,950		0		0					
	④ 執行率	100.0%		99.2%									
人機工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.17	/	2.80	0.17	/	2.80	0.17	/	2.80	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	8,360		8,360		8,360		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		27,333		22,310		8,360		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	厚生会館使用料		種類	総務使用料		4,405		決算付属資料	8		頁
			自動販売機設置貸付収入(厚生会館)			財産貸付収入		186			34		
			アンテナ設置占用料			総務使用料		52			8		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	施設使用料	千円	9,075/17,500	8,701 / 14,500	4,405 / 14,500	/ 14,500	14,500
	施設利用者数	人	54,760/75,000	56,289 / 75,000	10,203 / 75,000	/ 75,000	75,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	施設利用件数	件	1,005/1,500	1,017 / 1500	464 / 1500	/ 1500	1500
	単位あたりコスト		19.4	23.7	30.1		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市内最大のホール、多目的施設として代替性はなく、必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	受益者負担の原則から使用料負担により年間事業費の約60%、自動販売機の貸付等収入で約1%の収入を確保しているが、より利用率を向上させる必要がある。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	公的利用、民間利用、営利、非営利ともに土日の利用はほぼ90%に近い状態で有効に活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	■平成29年度の年度当初に改修工事実施のため、予約不可のアナウンスをしていたため、他施設に利用が流出し使用者が減少傾向にあり、さらにコロナ禍により減少している。 また、市内他施設に対して設備の老朽化も進んでいることも原因の一つと想定する。		
これまでの課題及び今後の方向性	■厚生会館施設及び設備の老朽化により、改善箇所が多数ある。 ■平成30年3月竣工を目処に厚生会館改修を実施する計画があったが耐震補強が必要となり多額の経費が必要となることが判明し、一旦立ち止まって再検討を行うこととしている。 ■平成30年度に策定した「文化振興基本方針」の中で施設の整備について、「老朽化している他の施設との効果的な機能集約も図るなかで、文化活動の核となる文化ホールについて、新たな建設も含め検討する」としている。このことを踏まえて施設の今後の在り方を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	芦田均記念館管理運営事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳			
会計情報	事業コード	650316	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	芦田均記念館条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	芦田均元首相に関する資料を保存及び活用するとともに、地域文化の向上に寄与する。福知山市名誉市民である芦田均元総理大臣の事跡を紹介し、顕彰する。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,907		3,918		3,909		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	3,907		3,918		3,909								
予算財源内訳	① 一般財源	3,806		3,863		3,854								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	101		55		55								
決算情報	① 流充用額	0		13		0		0						
	② 配当予算	3,907		3,931		0		0						
	③ 執行額	3,864		3,906		0		0						
	④ 執行率	98.9%		99.4%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.11	/	0.00	0.31	/	0.00	0.31	/	0.00				
	② 概算人件費	880		2,480		2,480		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,744		6,386		2,480		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	芦田均記念館使用料		種類	総務使用料		実績金額	10		8	頁		
			電柱占用料(芦田均記念館)			総務使用料			2				決算付属資料	8

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入館者数	人	2,750/3,200	3,048 / 3,200	1,800 / 3,500	/ 3,500	3,500
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	305/310	291 / 310	271 / 310	/ 310	310
		単位あたりコスト	12.6	12.9	14.4		
	イベント開催回数	回	6	9 / 5	0 / 5	/ 5	5
		単位あたりコスト	642.0	552.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市内唯一の総理大臣経験者である芦田均元首相の高い業績を顕彰することは、郷土愛やシビックプライドの醸成、人材育成の観点からも必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	芦田均元首相に関する資料等を保存・活用するとともに、地域コミュニティの創造・活性化に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理者によって実施している著名な有識者を招いての講演会が記念館事業のメイン事業となっており、他にも多様なテーマの自主事業を実施している。 帰郷者が多く訪れる正月三が日にも自主的に臨時開館するなど、指定管理者の積極的な運営がみられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	郷土出身の芦田均元首相を顕彰する施設であり、芦田均に関する資料の収集や紹介、発信方法等を検討していく。 施設の運営については、指定管理者制度の見直し等もふまえ適切に対処していく。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	治水記念館管理運営事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	650311	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市治水記念館条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	由良川の水害、治水等に関する歴史的資料及び町屋を保存、活用するとともに、地域文化向上に寄与する。市民や来館者へ水害や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深める。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)			R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,896		3,826		3,358			予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		3,896		3,826		3,358							
予算財源内訳	① 一般財源	3,896		3,826		3,358							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 239		228		0			0				
	② 配当予算	3,657		4,054		0			0				
	③ 執行額	3,656		3,964		0			0				
	④ 執行率	100.0%		97.8%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.19	/	0.00	0.41	/	0.00	0.41	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,520		3,280		3,280			0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,176		7,244		3,280			0				
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	延べ語り部活動従事者数	人	700/1,000	600 / 1,000	350 / 1,000	/ 1,000	1,000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	305	289 / 305	258 / 305	/ 305	305
	単位あたりコスト		13.0	12.6	15.4		
	入館者数	人	2,159/3,300	2,208 / 3,300	1,900 / 3,300	/ 3,300	3,300
	単位あたりコスト		1.8	1.4	2.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	由良川の洪水、治水に関する歴史的資料及び町家を保存活用し、後世に伝えていくことは責務である。地域コミュニティの創造・活性化を図るなど妥当性も高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	令和2年度に、指定管理から市の直営に運営方法を変更した。運営に当たっては最小限の経費で行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	歴史的建造物である町家建物の保存活用を行い、洪水や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深めるための有効活用ができています。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	記念館の目的の治水と洪水に対する洪水体験を身近に感じていただくとともに、明治初年建築の町家の構造や見学を知ることができる施設として地元小学生が授業で来訪している。また、中心市街地の回遊のコースとして位置づけている。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の運営については、令和2年度より直営で行っている。以前の指定管理者である柳菱クラブには、語り部として協力をいただき、「昭和28年洪水」の貴重な体験について来館者に説明をしていただいている。語り部が高齢化しており、次世代への継承が課題である。入館者数や中心市街地の動向を参考に、今後の施設のあり方について見直しの検討を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	丹波生活衣館管理運営事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	650309	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	丹波生活衣館条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 （												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	丹波生活衣の歴史と特色を紹介し、本市の文化発信の拠点とする。地域文化の伝承活用を通じて、新たな地域文化の創造と情報発信を行い、市民が地域の文化・歴史について理解を深め、愛着と誇りを持つ。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	4,403		4,959		4,959		予算編成時記入 (3次公表時)										
	② 補正予算	0		0		0												
	③ 繰越予算	0		0		0												
	前年度繰越	0		0		0												
	次年度繰越	0		0		0												
	小計(①～③)	4,403		4,959		4,959												
予算財源内訳	① 一般財源	3,875		4,361		4,361												
	② 国支出金	0		0		0												
	③ 府支出金	0		0		0												
	④ 地方債	0		0		0												
	⑤ その他特財	528		598		598												
決算情報	① 流充用額	2,182		1,892		0		0										
	② 配当予算	6,585		6,851		0		0										
	③ 執行額	6,555		6,628		0		0										
	④ 執行率	99.5%		96.7%														
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.12	/	2.01	0.39	/	2.01	0.39	/	0.00								
	② 概算人件費	5,985		8,145		8,145		0										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,540		14,773		8,145		0										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	丹波生活衣館使用料		種類	総務使用料		169		実績金額	100		8		決算付属資料	50		頁
			丹波生活衣館講座材料費			雑入		80			36							
			丹波生活衣館加工品等			物品売払収入												

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入館者数	人	8,751/10,000	8,656 / 10,000	9,432 / 10,000	/ 10,000	10,000
	施設貸し室件数	件	87/130	79 / 100	81 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	展示会・講座・教室の回数	件	32/25	25 / 25	30 / 25	/ 25	25
	単位あたりコスト		180.2	218.5	220.9		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	庶民の服飾資料として全国的に例のないもので、貴重な文化遺産として保存と活用を進める。本市の文化的、歴史的な特徴と魅力を発信することができる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	市民参加を促す市民ギャラリーを活用し観覧者増加を図っている。体験学習会との材料は受益者負担として事業経費の支出を節減している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	丹波生活衣同好会と市民協働で資料の調査・整理、活用を行っている。服飾のみならず工芸等、伝統技術を基にした多くの体験学習会を実施しており大変好評である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	各種企画展示、ギャラリー貸出しを行い情報発信している。 伝統素材や技術を基本とした各種体験学習会等を積極的に開催しており、概ね募集案内直後には定員を満たしている。 丹波生活衣同好会のみなさんに、ボランティアで運営の支援をいただいている。		
これまでの課題及び今後の方向性	丹波生活衣館並びに事業の広報につとめ、入館者にギャラリー等貸し館の利用案内を徹底し、利用率向上を図る。さらに福知山城・美術館・ゆらのガーデン等周辺施設からの周遊促進を図る。 令和2年1月から令和3年2月まで佐藤太清記念美術館の2階展示室で「福知山光秀ミュージアム」を開催された関係で、生活衣館でも大河ドラマ関係のパネル展示やVR体験コーナーなどを設置した。 また佐藤太清記念美術館の展示会やワークショップ事業なども丹波生活衣館を会場に実施した。 今後も収蔵資料などを活用し手の特別展、企画展を実施しつつ適切な施設管理を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤太清記念美術館管理運営事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳			
会計情報	事業コード	650306	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行い、市民文化の発展に寄与することを目的とする。				
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,444		6,911		8,142		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		7,444		6,911		8,142								
予算財源内訳	① 一般財源	1,633		5,485		5,122								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	5,811		1,426		3,020								
決算情報	① 流充用額	2,014		555		0		0						
	② 配当予算	9,458		7,466		0		0						
	③ 執行額	9,419		7,238		0		0						
	④ 執行率	99.6%		96.9%										
人機工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.15	/	1.71	0.15	/	1.71	0.15	/	1.71	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	5,475		5,475		5,475		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,894		12,713		5,475		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	佐藤太清記念美術館入館料		種類	総務使用料		実績金額	3,371		決算付属資料	8		頁
			佐藤太清記念美術館管理運営事業(きょうと地域連携交付金)			総務費府補助金			3,393			26		
			自動販売機設置貸付収入(美術館売店)			財産貸付収入			396			34		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入館者数	人	8,964/9,000	30,778 / 10,000	69,742 / 11,000	/ 11,000	11,000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	281/295	281 / 307	270 / 307	/ 307	307
	単位あたりコスト		26.4	33.6	26.8		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本誌の名誉市民であり、日本画家の佐藤太清画伯を検証し、その作品を展示、收藏するとともに福知山市の文化水準を全国に発信するための存在意義は大きい。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設の運営において、美術品等に関わる専門性が求められる業務もあり、学芸員等有資格者の嘱託職員を配置し、施設管理に伴う業務については、入札により長期継続契約を締結しており、効率的な運営ができています。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	美術館は、全国的に情報発信できる福知山市固有の文化的資産を有しており、福知山市の対外的な文化的イメージの向上をはかる数少ない施設である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。また、わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画・特別展を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップやギャラリートーク等の市民参加型の体験会を実施し、市民に文化芸術に触れていただく機会を創出している。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設設置後30年近くを経て、設備等の老朽化が進んでいることから、計画的な改修や、運営方法について計画的に検討する必要がある。大河ドラマ放送にあわせた、特別展として「福知山光秀ミュージアム」を令和3年2月まで開催しており、多数の来館者を迎えた。ミュージアム終了後は、美術館の常設展示や特別展、企画展などを実施するとともに、快適に観覧できる環境を維持していく。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城天守閣管理運営事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳			
会計情報	事業コード	650303	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78・80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山城天守閣条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示し、市民や本市来訪者へ普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する。 福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。 本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」天守閣建物の適正な管理・運営を行う。				
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	6,794		11,992		13,070		予算編成時記入 (3次公表時)							
	② 補正予算	0		0		0									
	③ 繰越予算	0		0		0									
	前年度繰越	0		0		0									
	次年度繰越	0		0		0									
小計(①～③)		6,794		11,992		13,070									
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		86									
	② 国支出金	0		0		0									
	③ 府支出金	0		0		0									
	④ 地方債	0		0		0									
	⑤ その他特財	6,794		11,992		12,984									
決算情報	① 流充用額	3,481		3,280		0		0							
	② 配当予算	10,275		15,272		0		0							
	③ 執行額	10,054		15,272		0		0							
	④ 執行率	97.8%		100.0%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.25	/	2.88	0.33	/	2.88	0.33	/	0.00	0.00				
	② 概算人件費	9,200		9,840		9,840		0							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,254		25,112		9,840		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山城天守閣入館料等		種類	総務使用料		11,865		実績金額	8		頁		
			福知山城御城印			物品売払収入		3,053			決算付属資料			36	
			特別企画乗車券配分金			雑入		352						50	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入館者数	人	40,072/38,000	101,238 / 50,000	109,189 / 50,000	/ 60,000	50,000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開館日数	日	287/310	307 / 334	312 / 365	/ 305	365
	単位あたりコスト		31.8	35.9	48.9		
				/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市のランドマーク、シンボルとして広く親しまれ、本市の歴史を紹介する数少ない施設である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設管理に伴う業務について、入札により長期継続契約を締結しており、効率的な運営ができています。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	来館者に適切な施設環境を整えるとともに安心・安全な施設運営を進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内外から多くの来館者を迎え、本市の歴史や文化、福知山城の歴史や特色を紹介し普及啓発を図ることができた。また、本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」の適正な管理・運営を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成28年度に天守閣再建30年を迎え施設の老朽化が課題となっている。必要な部分から随時改修工事を行っているが、今後10年20年先を見据え、運営面も含めて対策を検討する必要がある。2020年の大河ドラマの影響で広く認知されたこともあり、引き続き来館者を迎えられるよう運営を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	650302	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行い、市民文化の発展に寄与することを目的とする。					
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者(市内外を対象)		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,009		822		951		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
	小計(①～③)	2,009		822		951					
予算財源内訳	① 一般財源	934		0		0					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	1,075		822		951					
決算情報	① 流充用額	△ 540		587		0		0			
	② 配当予算	1,469		1,409		0		0			
	③ 執行額	1,469		1,409		0		0			
	④ 執行率	100.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.09	/	0.47	0.09	/	0.47	0.09	/	0.00	
	② 概算人件費	1,895		1,895		1,895		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,364		3,304		1,895		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市町村交付金		種類	雑入		492		50	
			佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業基金繰入金			基金繰入金		312		38	
											頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	入館者数	人	8,964/9,000	30,778 / 10,000	69,742 / 10,000	/	10,000	10,000
				/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	開館日数	日	281/295	281 / 307	318 / 307	/	307	307
	単位あたりコスト		2.7	5.2	4.4			
	単位あたりコスト			/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	美術館の使命である芸術作品の収集・保管、活用を図るため収蔵品の適切な管理を行う。美術館環境を活用したワークショップやコンサート等の普及事業が求められおり、市民にも定着している。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	収蔵資料の額装等、専門性を要するものは業務委託し効率的に管理を行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	福知山市の文化資産を管理・活用することで文化的イメージの向上を図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	「わかり易く、誰もが楽しめる楽しい展覧会」を目指し各種企画を開催した。 魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施し、入場者増を図っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年1月から令和3年2月まで、2階展示室で「福知山光秀ミュージアム」を開催していたため、既存の展示会やワークショップ事業については丹波生活衣館のギャラリーを利用して実施した。 見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズに合致した企画運営を図り施設を有効に活用する。 図書館、学校等関連事業とも連携し入館者数増につながる特別展・展示内容が必要であり、展示計画を策定して進めていく。 収蔵資料の適切な保存・管理を進めるとともに、文化資源を活用した普及啓発事業を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山市ジュニア文化賞表彰事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳			
会計情報	事業コード	650216	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	ジュニア文化賞に関する規則、ジュニア文化賞表彰要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高校生以下のジュニアを対象に全国大会で優秀な成績を収めたものを表彰する。				
対象者	市内に在住・在学する小学生・中学生及び高校生	対象者数	1,000	単位あたりコスト	1.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	54		54		51		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	54		54		51							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	54		54		51							
決算情報	① 流充用額	20		△ 5		0		0					
	② 配当予算	74		49		0		0					
	③ 執行額	69		23		0		0					
	④ 執行率	93.3%		46.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.17	/	0.00	0.17	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	560		1,360		1,360		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		629		1,383		1,360		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山市ジュニア文化賞表彰事業基金繰入		種類	基金繰入金		22		決算付属資料	40		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	文化賞表彰件数	人	4/5	4 / 5	2 / 5	/ 5	5
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	文化賞委員会	回	1/1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		63.0	69.3	23.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	若年層の活動を激励し、文化活動参加への後押しを行う点で、次世代育成の事業として必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	候補者について、市内の各学校からの推薦を受け、選考委員会により決定しており、効率的な選考を行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	本市から表彰されることによって本市の代表として意識の向上、郷土愛の醸成と若年層の文化の底上げを図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本表彰を通じた若年層の文化活動への動機付けや次世代育成につながっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度の委員会については、新型コロナウイルス感染防止の為、書面決議の形式で実施した。積極的な広報に努め、本市の文化の担い手である若年層の意識啓発を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

Ⅰ 事業属性

事業名	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳			
会計情報	事業コード	650209	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化協会運営補助金交付要綱、ジュニア文化活動全国大会等出場事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 (												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とする。					
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者(市内外を対象)		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,242		5,293		5,447		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		5,242		5,293		5,447						
予算財源内訳	① 一般財源	3,226		4,909		1,702						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		1,711						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	2,016		384		2,034						
決算情報	① 流充用額	2,186		1,372		0		0				
	② 配当予算	7,428		6,665		0		0				
	③ 執行額	6,462		5,058		0		0				
	④ 執行率	87.0%		75.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.28	/	0.00	0.47	/	0.00	0.47	/	0.00		
	② 概算人件費	2,240		3,760		3,760		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,702		8,818		3,760		0				
主な利用特財 (N－1年度実績値)	特財名称	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業 (きょうと地域連携交付金)			種類	総務費府補助金		2,029		決算付属資料	26	頁
		福知山市史等図書				物品売払収入		1,218			36	
		夜久野町史				物品売払収入		34			36	

Ⅳ 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
	共催事業参加者数	人	6,956/12,000	4918 / 12,000	3,283 / 12,000	/	12,000	12,000
				/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
	文化協会との共催事業数	件	7/10	6 / 10	3 / 10	/	10	10
		単位あたりコスト	837.3	1,077.0	1,686.0			
	文化協会加盟団体数	団体	42/43	42 / 43	/	/		
		単位あたりコスト	139.5	153.9				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市民が文化に触れる機会を創出するために、市民による文化推進団体である文化協会の活動を支援し、各種文化教室や文教フェスティバルなどを通じて、文化振興を図ることができる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	文化協会が主体となる福知山市文化祭事業や各種講演、発表会を福知山市共催事業として実施することで、効率的な開催ができています。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	文化協会による市民が主体となった自主的な活動を支援することで、行政が担う文化振興が保管され、官民一体となった推進体制を構築することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市文化協会への事業支援助金により、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、市民の自主的・主体的な参画により実施できる。コロナ禍により、多くの自主事業、共催事業を中止するなど集客に大きな影響があった。		
これまでの課題及び今後の方向性	補助金等による支援を通じて本市の文化振興を図る。文化振興基本方針をふまえ、文化協会と連携して新たな文化振興事業の取り組みの検討を進める。文化関連のジュニアの全国大会出場の出場費補助について、活用しやすい形に見直す。新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の形での行事を開催することが難しい状況にある。状況を見ながら開催方法の工夫などを行っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	中丹文化芸術祭事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳						
会計情報	事業コード	650208	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	09 文化振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する												
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針									
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民が取り組む芸術・創作活動の成果を発表する場を作り上げることに参画することで、より多くの市民に芸術に触れる機会を提供し、心豊かな地域社会の構築を目指す。					
対象者	市民、文化活動団体、事業参加者(市内、市外を対象)		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (負担金交付)					
委託先・実施主体等	中丹文化芸術祭実行委員会					
事業概要 (箇条書き)	■中丹3市と中丹文化事業団の共催で、市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動等の発表の場を提供する。 運営については、各市文化団体を含めた実行委員会を組織して実施している。 開催場所は、3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当し、令和2年度は綾部市が事務局を担当した。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	400	中丹文化芸術祭負担金			

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予 算 情 報	① 当初予算	703		620		620		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		703		620		620							
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	703		620		620							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決 算 情 報	① 流充用額	△ 35		△ 105		0		0					
	② 配当予算	668		515		0		0					
	③ 執行額	668		400		0		0					
	④ 執行率	100.0%		77.7%									
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.13	/	0.04	0.13	/	0.04	0.13	/	0.04	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,140		1,140		1,140		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,808		1,540		1,140		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	出演者数	人	1,371/2,300	1,321 / 2,300	832 / 2,300	/ 2,300	2,300
	来場者数	人	2,518/3,000	2,382 / 3,000	897 / 3,000	/ 3,000	3,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開催種目数	事業	6/9	6 / 9	6 / 9	/ 9	9
	単位あたりコスト		108.3	111.4	66.7		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	中丹3市で芸術、創作活動に取り組む文化団体が一堂に会し発表する場を確保するとともに、相互の交流によって、新たな文化の創造を図るために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	中丹文化事業団、中丹3市文化担当職員及び各市文化協会委員による実行委員会により運営されており、会場使用料等及び負担金で効率的に事業実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	出演種目にあわせ、次世代育成も視野に入れた事業が展開されている。他団体との共催することにより、相互にレベルアップの動機づけや、交流の機会となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	中丹3市の文化団体共通の発表の場であり、各市団体の交流の場、レベルアップの動機付けの機会となっているとともに、新たな会員募集に向けたPRの場となっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	京都府と中丹3市、3市文化協会の協働で実施している事業でもあり、課題や情報を共有しながら進めていく必要がある。京都府、3市からの負担金を財源として運営しているが、いずれも予算削減のおり予算確保が難しくなっている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	佐藤太清賞公募美術展事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	650205	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市出身の日本画家であり、名誉市民である佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。 北近畿の中核都市に相応しい文化的イメージの向上を図るとともに、全国に情報を発信することで、福知山市の認知度向上と、市民の誇りの醸成につなげる。					
対象者	市民、出品者(芸術を志す全国の高校生・大学生など16歳から27歳までの方)、入場者(市内外を対象)		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	12,176		12,140		12,080		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
小計(①～③)		12,176		12,140		12,080				
予算財源内訳	① 一般財源	2,938		156		1,646				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	9,238		11,984		10,434				
決算情報	① 流充用額	△ 829		1,115		0		0		
	② 配当予算	11,347		13,255		0		0		
	③ 執行額	11,335		12,928		0		0		
	④ 執行率	99.9%		97.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.27	/	0.08	0.29	/	0.08	0.29	/	0.00
	② 概算人件費	2,360		2,520		2,520		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,695		15,448		2,520		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	佐藤太清賞公募美術展事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	2,200	決算付属資料	38	頁
			市町村交付金		雑入		6,719		50	
			佐藤太清賞公募美術展出品料		雑入		387		48	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	出品者数	人	144/250	132 / 250	148 / 250	/ 250	250
	入場者数	人	2,067/2,000	1,519 / 2,000	1,815 / 2,000	/ 2,000	2,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	美術展の開催	回	1/1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		12,155.0	11,335.2	12,928.0		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	全国規模の公募美術展を開催することで、日本各地から応募があり、若手の登竜門として定着、福知山の認知度向上にもつながっている。 過去の受賞者の中から、日展作家や画業を生業とされる方も輩出している。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	募集から展覧会の開催まで、事務局業務と美術品運送・会場設営などを専門的知識や経験の必要な業務を委託しており、効率的な運営ができています。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	本市における文化的資産である「佐藤太清」を活用して、全国的に発信ができる重要な事業である。地元高校生の出品・入賞等もあり、次世代の育成の場ともなっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度はコロナ禍ではあったが、感染対策を行いつつ全国5会場の巡回展を実施した。入場者数については伸び悩んだ。 「佐藤太清の福知山」、「若い世代の育成」という福知山からのメッセージを全国に発信することができた。 市内の高校から毎年出品いただくなど、市内においても一定定着している。 令和2年度は、市内出品者から特選の受賞者があった(絵画)。		
これまでの課題及び今後の方向性	出品者の増を図るため、大学・専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知を図っていく。 入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等への有効な広報活動等を行う必要がある。 奨学金の財源としている「佐藤太清賞基金」が減少しており、新たな財源を確保する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	市展事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳						
会計情報	事業コード	650203	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	09 文化振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	76・78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する												
計画期間	開始年度	昭和38年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針										
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	多くの市民が芸術活動・創作活動に主体的に参画し、また、発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築する。 市民に創作活動の発表の場と文化芸術に親しむ機会を提供し、市民の自主的な文化・芸術活動が広範かつ積極的に行われる。					
対象者	市民、出品者(三たん地域のアマチュア芸術愛好者)入場者(市内・市外を対象)		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,430		3,502		3,857		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
小計(①～③)		3,430		3,502		3,857					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		427					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	3,430		3,502		3,430					
決算情報	① 流充用額	589		216		0		0			
	② 配当予算	4,019		3,718		0		0			
	③ 執行額	4,014		3,674		0		0			
	④ 執行率	99.9%		98.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.35	/	0.04	0.45	/	0.04	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,900		3,700		3,700		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,914		7,374		3,700		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市展事業基金繰入			種類	基金繰入金	実績金額	250	決算付属資料	38	頁
		市町村交付金				雑入		2,417		50	
		市展作品出品料				雑入		681		48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	出品点数	点	552/500	474 / 500	496 / 500	/ 500	500
	来場者数	人	2,571/3,000	2,648 / 3,000	2,372 / 3,000	/ 3,000	3,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市展開催	回	1/1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		3766.0	4014.4	3674.0		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市民が取り組む芸術活動の発表の場として求められている展覧会である。 本市を代表する文化事業として広く認知され、全市的かつ三たん地域（丹後・丹波・但馬）の公募美術展として定着をしている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	開催に要する経費については、最小限となるよう精査している。 会場の設営・展示・撤収作業は専門業者に委託、運営については共催団体と協働で行い、効率化を図っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市展が市民の芸術活動の発表の場となっており、例年300点を超える出品を得ている。 市展開催中の来場者も例年2,500人を超えており、本誌における美術展として定着している。 高校生や初心者の出品もあり、幅広い参加を得ている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度に第56回を開催し、三たん地方の住民を対象とした公募美術展として定着している。 例年、300点を超える出品を得るとともに、展覧会の会期中には約2,500人の来場者に来ていただいている。		
これまでの課題及び今後の方向性	三たん地域の過疎化・人口減少の中、一定の出品者数を維持できているのは、60歳以上の出品者の創作活動に支えられている。 出品者数の増加に向けて、市内の高校に開催要綱を持参し、生徒への周知を依頼している。 また、入場者数の増加を目指しSNS等を利用した広報にも取り組んでいく。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	厚生会館文化芸術振興自主事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳			
会計情報	事業コード	650202	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	76	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化公演自主事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興のため、市内最大規模の舞台・客席を持つホールを活用して、舞台芸術を中心とした文化芸術の振興事業を行う。						
対象者	市民、施設利用者(市内外を対象。営利・非営利)出演者(市内外を対象)入場者(市内外を対象)		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	617		603		603		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
	小計(①～③)	617		603		603					
予算財源内訳	① 一般財源	0		14		36					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	617		589		567					
決算情報	① 流充用額	△ 88		0		0		0			
	② 配当予算	529		603		0		0			
	③ 執行額	500		386		0		0			
	④ 執行率	94.4%		64.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.12	/	0.12	0.12	/	0.12	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,260		1,260		1,260		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,760		1,646		1,260		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市町村交付金		種類	雑入		385		50	頁
						実績金額		決算付属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	コンサート等来場者数	人	850/1,000	548 / 1,000	0 / 1,000	/ 1,000	1,000
	ガラコンサート出演者数	人	9/10	- / 10	0 / 10	/ 10	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	文化振興事業実施件数	回	3/4	3 / 4	0 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		221.7	166.7			
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	京阪神の都市圏に行かなくとも、“地元で優れた音楽を聞く”とのコンセプトにより、本市における音楽芸術の振興と質の高い演奏に触れる機会を創出する事業として、必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	市民ボランティアによる実行委員会を組織し、企画から演奏会の運営など市民協働により事業を推進している。コンサート等の入場料により効率的な事業推進を図っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	「スタインウェイを弾いてみよう」事業は、ピアノの名器スタインウェイに触れていただく機会を創出するとともに、利用が少ない夏季期間の空き室の有効活用を目的に実施している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度事業については、コロナ禍により延期または中止とした。 ①スタインウェイを弾いてみよう:中止 第14回を迎え、市民の間で定着している ②クラシックガラ・コンサート :中止 令和元年度、2年度と実施なし ③文化公演自主事業 :延期 「京都市交響楽団による演奏会」を計画したが、令和3年度に延期することとした。		
これまでの課題及び今後の方向性	文化公演自主事業は、市民に良質な音楽に触れる機会を提供するという趣旨で始まった事業であり、毎年の恒例事業として定着している。次回の開催が20回目の節目となることから、今後の事業の継続について検討の時期にきている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	パラリンピック聖火フェスティバル実施事業											
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課					所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650139	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	20801	施策名	スポーツを振興する								
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合											
関連事業	オリンピック聖火リレー実施事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により2021に延期された東京2020パラリンピックの聖火フェスティバルを実施する。											
対象者	全市民					対象者数		単位あたりコスト				
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	○東京2020パラリンピックが2021年に延期されたため、実績なし。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	653	704	予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	△ 653	0		
	③ 繰越予算	0	0		
	前年度繰越	0	0		
	次年度繰越	0	0		
小計(①～③)	0	704			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		
	② 国支出金	0	0		
	③ 府支出金	0	0		
	④ 地方債	0	0		
	⑤ その他特財	0	704		
決算情報	① 流充用額	0	0	0	
	② 配当予算	0	0	0	
	③ 執行額	0	0	0	
	④ 執行率				
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	/	/	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	灯籠製作数	個		/	0 / 200	/ 200	200
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	ワークショップ実施回数	回		/	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト		/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	東京2020パラリンピック聖火フェスティバルは、市民の注目度も高く東京2020組織委員会が実施主体となり官民協働により実施する事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	必要物品の多くは東京2020組織委員会が指定する仕様であり、統一のものである。運営方法も組織委員会で細部まで定められている中でコスト意識をもって実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	全国が注目する東京2020パラリンピックに関連する事業を実施することは、市民のスポーツへの関心の高揚に非常に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○世紀のスポーツイベントである東京2020パラリンピックの機運醸成に繋がる事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	○新型コロナウイルス感染症の感染防止に万全の体制をとる必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ賞表彰事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650131	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	13 体育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する												
計画期間	開始年度	昭和46年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画								
根拠法令等	福知山市スポーツ賞基金条例、福知山市スポーツ賞に関する規則															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()															
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合															
関連事業																

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	全国大会等で活躍した競技者の栄誉を称え、競技力の更なる向上とスポーツの普及・振興を図ることを目的とする。					
対象者	全市民		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	214		172		172		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		214		172		172							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	214		172		172							
決算情報	① 流充用額	5		0		0		0					
	② 配当予算	219		172		0		0					
	③ 執行額	97		44		0		0					
	④ 執行率	44.3%		25.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.33	/	0.00	0.22	/	0.00	0.22	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,640		1,760		1,760		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,737		1,804		1,760		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	スポーツ賞表彰事業基金繰入		種類	基金繰入金		38		決算付属資料	38		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受賞者件数	件	6/5	5 / 5	1 / 5	/ 5	5
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	候補者照会先	団体	20/20	20 / 20	20 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		5.8	4.9	2.2		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	優秀な成績を挙げた選手に対し、市長自ら表彰する事業であり、選手や競技団体の意識の向上が期待でき、その意義は大きい
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	事業の性格上、受益者(受賞者)に負担を求めるものではなく、受賞者の栄誉を顕彰するものであり妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市内の競技者の栄誉を顕彰することで、競技者意識や競技力の向上にも有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	受賞者については全国大会で優勝した者、選考委員会で大会の規模や出場者数なども勘案して選考をする。		
これまでの課題及び今後の方向性	競技スポーツに対する本市の姿勢を示すことにより、競技者及び競技団体の意欲を喚起し、競技力の向上を通じて、市民のスポーツ意識の高揚を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	オリンピック聖火リレー実施事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650129	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246・248	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により2021年に延期された全国47都道府県をリレーする東京2020オリンピック聖火リレーのうち、福知山市を通過する聖火リレーを、東京2020組織委員会、東京2020オリンピック聖火リレー京都府実行委員会と連携して実施する。				
対象者	全市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		7,258		0		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	2,177		2,474		0							
	③ 繰越予算	0		△ 9,706		9,706							
	前年度繰越	0		0		9,706							
	次年度繰越	0		△ 9,706		0							
	小計(①～③)	2,177		26		9,706							
予算財源内訳	① 一般財源	0		8		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		9		2,245							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	2,177		9		7,461							
決算情報	① 流充用額	△ 1,505		0		0		0					
	② 配当予算	672		26		0		0					
	③ 執行額	672		25		0		0					
	④ 執行率	100.0%		96.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.72	/	0.00	0.26	/	0.00	0.26	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	5,760		2,080		2,080		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,432		2,105		2,080		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	オリンピック聖火リレー実施事業(京都府東京2020聖火リレー事業補助金)	種類	教育費府補助金	実績金額	12	決算付属資料	32	頁			
			オリンピック聖火リレー実施事業基金繰入		基金繰入金		9		40				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観覧者数(小学生)	人		/	— / 700	/ 700	700
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	イベント周知事業所数	件		255 / 150	800 / 150	/ 300	300
	単位あたりコスト			2.6	0.0		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	東京2020オリンピック聖火リレーは、市民の注目度も高く東京2020組織委員会が実施主体となり官民協働により実施する事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	必要物品の多くは東京2020組織委員会が指定する仕様であり、統一のものである。聖火リレーの運営方法も組織委員会で細部まで定められている中でコスト意識をもって実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	全国が目指す聖火リレーを実施することは、市民のスポーツへの関心の高揚に非常に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○世紀のスポーツイベントである東京2020オリンピックの機運醸成や、ボランティアとして参加したり観覧するなど聖火リレーを通じて市民の地域への愛着の醸成に繋がる事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	○交通規制による市民生活への影響を最低限に抑えるため、市民への周知を徹底することが必要である。 ○新型コロナウイルス感染症の感染防止に万全の体制をとる必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	トップアスリート育成支援事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650123	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	○福知山市トップアスリート全国大会出場事業補助金交付要綱、○福知山市ジュニア育成大会等運営補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ())												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	競技者やジュニアスポーツの支援に加え、市外スポーツ団体との交流を促進し、本市の競技スポーツの普及と振興を図り全国大会等へ出場するトップアスリートの育成を目的とする。				
対象者	トップアスリートをはじめとする市内競技者(各競技協会登録者数)	対象者数	8,400	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,200		2,700		2,700		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		4,200		2,700		2,700						
予算財源内訳	① 一般財源	2,700		0		0						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	1,500		2,700		2,700						
決算情報	① 流充用額	△ 1,886		△ 211		0		0				
	② 配当予算	2,314		2,489		0		0				
	③ 執行額	2,171		179		0		0				
	④ 執行率	93.8%		7.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.33	/	0.00	0.27	/	0.00	0.27	/	0.00		
	② 概算人件費	2,640		2,160		2,160		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,811		2,339		2,160		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	トップアスリート育成支援事業基金繰入			種類	基金繰入金		179		決算付属資料	40	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	全国大会出場者(団体)	人		99 / 200	16 / 200	/ 200	200
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助金申請件数	件		33 / 50	7 / 50	/ 50	50
	単位あたりコスト			65.8	25.6		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	オリンピック・パラリンピックイヤーを迎え、全国的にスポーツへの関心が高まる中、本市競技者が全国大会等に出場することは競技力の向上に加え、市民のスポーツへの関心の高揚につながる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	各事業の実施後、事業費報告により精査を行っており、補助金の使途は明確である。各競技協会等には、経費の節減等に関する助言を行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	福知山市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」「はじめる」スポーツの推進に寄与している。本市のジュニア層の選手の競技力向上と心身の健全な発達をより一層促進することができている。全国大会等への出場の際の負担軽減になる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市スポーツ推進計画の理念のうち、競技スポーツの振興に関り、全国大会出場にあたってもスポーツ協会と協働で激励会を実施するなどし、市のPRにつながる取組を通じて福知山市を全国に発信することができている。オリンピック・パラリンピックイヤーを迎え、青少年にもスポーツへの興味が高まっていくことを機に、将来的にトップアスリートとして本市を代表して全国で活躍することのできる競技者の育成につながるものである。 なお、IV業績指標中の成果実績において令和2年度の実績値が目標値に比べ大幅に低くなっているが、これは新型コロナの影響が大きかったためである。		
これまでの課題及び今後の方向性	R01年度からの新規事業であり、更に事業内容の周知を行い利用者増を図る。また、様々なニュースポーツの誕生等、スポーツの多様化が著しい今日、広く市民のスポーツ競技力の向上を図れるよう制度について検討する必要がある。将来的には、スポーツ振興協働化事業と合わせ民間資金や活力を活用し、柔軟な事業運営を行い、本市の競技者の競技力向上と郷土愛をはぐむとともに、全国で活躍するトップアスリートの育成を図る事業とする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国際大会開催準備事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也							
会計情報	事業コード	650113	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する												
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画										
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の成功に向け、準備体制の強化を図り、受入態勢を整える。									
対象者	全市民				対象者数	77,000	単位あたりコスト	3.3		
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (WMG実行委員会への負担金)									
委託先・実施主体等	ワールドマスターズゲームズ2021関西福知山市実行委員会 ほか									
事業概要 (箇条書き)	○三段池公園テニスコートの増設 ○WMG福知山市実行委員会及び京都府実行委員会への負担金 ○WMGのPR旅費 ○基金積立金 [主な利用特財]									
	国際大会開催準備事業(もうひとつの京都ステップアップ推進事業費交付金)(繰越明許費分) 教育費府補助金 2,000千円 32頁									
	国際大会開催準備事業(きょうと地域連携交付金) 教育費府補助金 5,320千円 32頁									
	国際大会開催準備事業基金繰入 基金繰入金 5,380千円 38頁									
	国際大会開催準備事業(集約化・複合化) 教育債 35,400千円 54頁									
	国際大会開催準備事業(集約化・複合化)(繰越明許費分) 教育債 83,800千円 54頁									
	国際大会開催準備事業(地域活性化)(繰越明許費分) 教育債 12,300千円 54頁									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容							
	工事請負費	219,422	テニスコート増設205708 サイン整備13714							
	積立金	13,225	減債基金積立							
	負担金補助及び交付金	8,946	WMG市実行委 8746 WMG府実行委 200							
	備品購入費	935	テニスコート備品							
	委託料 他	3,086	発掘調査経費 臨時職員人件費							

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	112,694		145,895		8,836		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	86,844		56,465		0								
	③ 繰越予算	△ 147,642		48,341		99,301								
	前年度繰越	0		147,642		99,301								
	次年度繰越	△ 147,642		△ 99,301		0								
小計(①～③)		51,896		250,701		108,137								
予算財源内訳	① 一般財源	5,499		11,645		5,777								
	② 国支出金	0		75,376		48,124								
	③ 府支出金	2,947		13,530		8,636								
	④ 地方債	42,800		137,400		45,600								
	⑤ その他特財	650		12,750		0								
決算情報	① 流充用額	4,582		0		0		0						
	② 配当予算	56,478		250,701		0		0						
	③ 執行額	55,811		245,614		0		0						
	④ 執行率	98.8%		98.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.83	/	0.00	0.64	/	0.00	0.64	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	6,640		5,120		5,120		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		62,451		250,734		5,120		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	国際大会開催準備事業(社会資本整備総合交付金)		種類	教育費国庫補助金		実績金額	39,375		決算付属資料	22		頁
			国際大会開催準備事業(社会資本整備総合交付金)(繰越明許費分)			教育費国庫補助金			36,000			24		
			国際大会開催準備事業(広域的スポーツ施設充実支援事業補助金)			教育費府補助金			13,225			32		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	WMG実施計画策定	計画	0	1 / 1	0 / 0	/ 0	1	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	チャレンジデーの参加率	%	0	39.4 / 50	— / 50	/ 50	50	
	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	実行委員会	回	0	2 / 2	1 / 3	/ 3	3	
	単位あたりコスト		0.0	27905.4	245614.0			
	主要大会等でのPR	回	0	4 / 5	4 / 10	/ 10	10	
	単位あたりコスト		0.0	13952.7	61403.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	世界最大級の生涯スポーツの祭典である「ワールドマスターズゲームズ2021関西」ソフトテニス競技を円滑に運営し成功に繋げるための準備として必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	関係団体の参画により実行委員会を組織し、最低限のコストで最大限の効果を生むことを念頭に「ワールドマスターズゲームズ2021関西」ソフトテニス競技を確実に運営する体制を構築している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を円滑に開催するための事業として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○令和2年度のチャレンジデーは、新型コロナウイルス感染症の影響により全国一斉実施が見送られた。代替として、宅内のできる運動等を啓発するパンフレットを制作、配布した。また、笹川スポーツ財団が実施した「うちチャレ」では、参加を呼びかけ、参加者が全国のチャレンジデー参加自治体で一位となった。 ○市内外のソフトテニス大会で「ワールドマスターズゲームズ2021関西」(2022年5月に開催延期)のPRを図った。 ○市民のスポーツによる交流促進や健康増進のほか、大規模大会開催誘致のため三段池公園テニスコートを20面に増設した。(令和3年5月には全日本シングルスソフトテニス選手権大会を開催)。		
これまでの課題及び今後の方向性	○「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の市内での機運醸成や参加者獲得が課題である。 ○大会終了後においても、市内に大会レガシーを残すことができるよう、市全体で事業に取り組む。 ○市内での大規模大会開催による市民の「みる」「する」「ささえる」スポーツへの参画を促進するための取り組みを引き続きすすめていく。 ○整備した三段池公園テニスコートを活用した大規模大会の誘致を競技団体等に働きかける必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ振興事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650111	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	福知山市補助金交付要綱・福知山市スポーツ振興事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	全国規模の大会等を誘致・開催し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市民の「みる」「ささえる」スポーツ大会を創出し、市民のスポーツへの関心と競技力を高め本市の更なるスポーツ振興を進めることを目的とする。				
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,270		2,605		3,201		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
小計(①～③)		3,270		2,605		3,201				
予算財源内訳	① 一般財源	1,370		1,105		1,101				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	1,900		1,500		2,100				
決算情報	① 流充用額	△ 299		0		0		0		
	② 配当予算	2,971		2,605		0		0		
	③ 執行額	2,271		1,131		0		0		
	④ 執行率	76.4%		43.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.46	/	0.00	0.39	/	0.00	0.39	/	0.00
	② 概算人件費	3,680		3,120		3,120		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,951		4,251		3,120		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スポーツ振興事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	700	決算付属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	主催大会参加選手・役員数	人	1,842/3,000	766 / 3000	635 / 3000	/ 3000	3000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助対象大会数	回	5/10	4 / 10	3 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		444.0	567.8	377.0		
	主催事業大会数	回	6/8	5 / 8	3 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		370.0	454.3	377.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	大規模大会の市内開催により市民のスポーツを「みる」機会の提供に繋がっている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	大会運営は補助金のほか、主催団体の自主財源(参加費、協賛金等)により行っている。また、全国各地から多くの参加者が本市を訪れることによる経済効果も期待できる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	大規模大会開催のインセンティブとなっているスポーツ協会との共催事業については、競技団体が主管することにより組織力の強化にも寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○全日本ソフトテニス実業団リーグのように、本市での開催が定着している大会もあり、本市の知名度向上につながっている。 ○全国大会等やスポーツ協会との共催事業は、競技団体が主管として競技運営に携わっており、各競技団体の組織力向上や運営ノウハウの蓄積に寄与している。 ○新型コロナウイルスの影響により市民駅伝、全関西卓球大会、市民スキー大会を中止したため参加者が減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	○トップアスリートの育成や指導者の育成が課題である。 ○全国規模の大会の継続的開催による市民スポーツの関心向上に繋げるため「する」「ささえる」スポーツとして市民が参画できる環境整備が必要である。 ○各々のスポーツの特性に応じたWITHコロナへの対応が必要。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山マラソン大会支援事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650109	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	福知山マラソン交付金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の一大イベントであり全国からの多数の参加により、全国有数の歴史・実績・規模を誇る福知山マラソン大会を支援することで、大会を通じた地域活性化を図ることを目的とする。					
対象者	市民、マラソン大会参加者、応援者		対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	12,000		14,000		14,200		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		△ 10,000		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	12,000		4,000		14,200								
予算財源内訳	① 一般財源	5,600		4,000		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	6,400		0		14,200								
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	12,000		4,000		0		0						
	③ 執行額	12,000		3,599		0		0						
	④ 執行率	100.0%		90.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.79	/	0.00	0.63	/	0.00	0.63	/	0.00				
	② 概算人件費	6,320		5,040		5,040		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,320		8,639		5,040		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地域スポーツ活動推進事業助成		種類	雑入		3,599		決算付属資料	50			
								実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	参加者申込人数	人	10272/11200	9480 / 11200	- / 11200	/ 5000	11200
	RUNNET大会レポート評価点	点	71.8/100	71 / 100	- / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	事務局会議開催回数	回	14/12	8 / 12	3 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		857.0	1500.0	1199.7		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	全国有数のフルマラソン大会として、内外に認知されており、他のイベントによる代替はできない。開催に係る許認可や医療・救急体制など安全性の確保の面で、民間事業者単独による実施はできない。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	参加料は全国平均を見ても妥当なレベルである。過去のノウハウも最大限に活かし、効率的に運営されている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	多様な参加者ニーズにも対応するため、他大会の情報収集の積極的に行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	京都府北部地域最大のイベントであるとともに全国有数のマラソン大会として内外で認知されており、大会運営においては堅実に実績を積み重ねている。 中止となった福知山マラソンの代替えとして「2020FUKUCHIYAMA MARATHON ONLINE」を開催した。全国で開催されたオンラインマラソンの中でも数少ない「リアルフィニッシュ」の部を設け、フィニッシュ地点の三段池公園にフィニッシュゲートを設置し完走者には福知山マラソンでは初めてフィニッシュメダルを進呈するなど実際に本市を訪問し走ってもらう仕組みを作るなどした結果、全国42都道府県771名のエントリーとなり、開催決定後短期間だったにもかかわらず大きな成果を得られた。		
これまでの課題及び今後の方向性	全国的にマラソン大会は増加の傾向にある。地方大会として大規模大会や都市型マラソンと競合していくためには、地域の特色を活かした大会運営をしていく必要がある。市民参加型のマラソン大会として、地域と一体となり、質の高い大会運営により参加者を確保し、地域活性化を図っていく必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症予防対策について万全の体制をとるための検討を進め、WITHコロナ、AFTERコロナの時代における新しいマラソンの運営方法の構築が最重要課題である。 ○今後、各地で再開するほか大会の事例も参考にしながら進める。 ※参加人数の縮小(参加料の検討) ウェブスタートの採用 オンラインマラソンとの同時開催など ○協賛企業や収入の減少も考えられ、より効率的な運営の検討も必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	四都市体育大会事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	森田 哲也			
会計情報	事業コード	650107	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☒ その他 (北部4市の輪番により実施)												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的とする。(四都市体育大会趣旨)					
対象者	四都市体育大会参加者		対象者数	200	単位あたりコスト	11.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (大会当番市への負担金交付)					
委託先・実施主体等						
事業概要 (箇条書き)	北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の体育・スポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施。 競技会は、年次で実施し、冬季大会(スキー種目)・春季大会(陸上競技等 18競技22種目)の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容			
	使用料及び賃借料	7	施設使用料			

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	879		779		1,226		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	879		779		1,226				
予算財源内訳	① 一般財源	879		779		1,226				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 256		△ 14		0		0		
	② 配当予算	623		765		0		0		
	③ 執行額	623		7		0		0		
	④ 執行率	100.0%		0.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.49	/	0.00	0.29	/	0.00	0.29	/	0.00
	② 概算人件費	3,920		2,320		2,320		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,543		2,327		2,320		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	参加者数(市)	人	687/690	615 / 690	- / 690	/ 690	690
	総合順位	位	1/1	1 / 1	- / 1	/ 1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	実施競技数	競技	19/19	18 / 19	- / 19	/ 19	19
	単位あたりコスト		44.6	34.6			
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史・実績を積み重ねており、市民注目度も高い。 スポーツ協会加盟の四市の各競技協会が自ら競技会を運営しており、交流や親睦を目的達成のためには必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	競技協会が中心となって大会運営をおこなっており、事業の効率性は高い。 しかし、施設の老朽化等に伴う、会場確保なども課題であり、広域的な施設利用や開催日の分散化など実施体制について、四市による協議が必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上において、十分な実績を果たしている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上と四市の親睦を図る大会として、歴史を積みかさね競技者のみならず市民にも定着しており、十分な実績を果たしている。 なお、新型コロナの影響により、令和2年度の大会は春冬とも中止となったため、IV業績指標中の成果実績の数値については記載していない。		
これまでの課題及び今後の方向性	長年の実施により定例化しているが、国体予選など他大会も同時期に開催されているため、選手確保が困難な競技もあり、実施競技・分散開催も含めた実施時期や会場等、現在の状況に応じた見直し等の検討が必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	生涯スポーツ推進事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650105	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 （												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	生涯スポーツ社会の実現に向けて、児童生徒から高齢者まで幅広くスポーツに親しむ機会を提供し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツ振興を図ることを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,376		3,839		2,963		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	4,376		3,839		2,963								
予算財源内訳	① 一般財源	3,876		3,839		2,963								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	500		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 243		6		0		0						
	② 配当予算	4,133		3,845		0		0						
	③ 執行額	4,133		3,548		0		0						
	④ 執行率	100.0%		92.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.26	/	0.00	0.27	/	0.00	0.27	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,080		2,160		2,160		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,213		5,708		2,160		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	保険料返戻金		種類	雑入		実績金額	14		決算付属資料	46		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	スポーツ教室受講者数	人	665/500	607 / 500	337 / 500	/ -	500
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	スポーツ教室数	教室	16/16	15 / 16	11 / 16	/ -	16
	単位あたりコスト		245.6	275.5	322.5		
	ニュースポーツ物品貸出件数			/	6 / 50	/ 50	50
	単位あたりコスト				591.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	スポーツに対する市民ニーズも高く多様化しており、福知山市スポーツ推進計画に基づく生涯スポーツの振興は必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	スポーツ用品の貸し出しやスポーツ教室の開催など、市民が気軽に参加するための費用として妥当と考える。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、スポーツ教室の受講者数は大幅に減少したが、平成30年度、令和元年度とも目標値を達成しており、スポーツを始めるきっかけとして非常に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	スポーツ教室(令和2年度まで)の実施やスポーツ用品の貸出等を行い、市民のスポーツ実施機会を提供することができた。また、児童・生徒をはじめとする市民へのスポーツの実施機会を提供することができおり、「はじめる」きっかけとしての役割を果たし、生涯スポーツの振興を進めることができています。		
これまでの課題及び今後の方向性	アンケート調査などにより、市民ニーズに即した教室等を実施し、スポーツを「する」機会を創出して行く必要がある。 また、スポーツ推進委員事業やスポーツ少年団育成事業とも連携して、本市の生涯スポーツ振興を図ることが必要である。 ○スポーツ協会と連携し、市民ニーズに即したスポーツ振興施策の展開が必要である。 ○スポーツ推進委員会事業やスポーツ少年団育成事業とも連携して、本市の生涯スポーツ振興を図ることが必要である。 ○障害者スポーツの振興にも努め、障害者・健常者を問わず誰もがスポーツに親しむことのできる社会の実現を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ少年団育成事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650104	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	福知山市スポーツ少年団育成補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流が深められ、少年スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、誰もが参加しやすい居場所づくりと、スポーツを通じた地域と家庭が支えあう関係づくりに繋げることを目的とする。				
対象者	スポーツ少年団員	対象者数	700	単位あたりコスト	4.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	172		172		172		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	172		172		172							
予算財源内訳	① 一般財源	0		172		172							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	172		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 11		△ 6		0		0					
	② 配当予算	161		166		0		0					
	③ 執行額	161		146		0		0					
	④ 執行率	100.0%		88.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.15	/	0.00	0.37	/	0.00	0.37	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,200		2,960		2,960		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,361		3,106		2,960		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	団員数	人	622/860	637 / 860	611 / 860	/ 860	860
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	助成単位団数	団	33/37	32 / 37	30 / 37	/ 37	37
	単位あたりコスト		4.7	5.0	4.9		
	広報誌の発行	回	1/1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		155.0	161.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	日本スポーツ少年団、京都府スポーツ少年団の下部組織に位置し、スポーツを通じた青少年の健全育成など実績も大きく、必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	少年団活動は、登録料を主な財源として運営されており、登録各団も会費等により自主的に活動しており効率性は高い。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	少子化により、団員の増加は厳しい現状にはあるものの、少年スポーツの普及や青少年の健全育成への有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	広報誌の発行や、交流大会の開催により加盟団体以外にも参加を呼びかける機会を設けて、拡充を図っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	スポーツの多様化や少子化により団員数や登録団は減少傾向にあるとともに、指導者養成も重要な課題であるが、スポーツ少年団の認知度を高める取り組みなどを実施し、単位団相互の交流などのコミュニティ活動を活性化させ、スポーツ少年団活動をより促進することが重要である。 スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流を深め、少年スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、誰もが参加しやすい居場所づくりやスポーツを通じた地域と家庭が支え合う関係づくりにおいて、スポーツ少年団が果たしている役割は大きく、組織の育成や継続のためにも事業を展開していくことが必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ推進委員会事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也							
会計情報	事業コード	650103	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	244・246	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する												
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画								
根拠法令等	スポーツ基本法、福知山市スポーツ推進委員に関する規則															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	スポーツ基本法に基づき委嘱を受けたスポーツ推進委員が、本市のスポーツ振興のために市民のスポーツへの関心を高め、幅広いスポーツ活動を推進することを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,091		2,997		3,041		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	3,091		2,997		3,041							
予算財源内訳	① 一般財源	3,091		2,997		3,041							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 692		△ 39		0		0					
	② 配当予算	2,399		2,958		0		0					
	③ 執行額	2,399		2,228		0		0					
	④ 執行率	100.0%		75.3%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.27	/	0.00	0.52	/	0.00	0.52	/	0.00			
	② 概算人件費	2,160		4,160		4,160		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,559		6,388		4,160		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		
												頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	派遣講習受講者数	人	967/1200	925 / 1200	348 / 1200	/ 1200	1200
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	講師派遣回数	事業	34/50	27 / 50	15 / 50	/ 50	50
	単位あたりコスト		59.4	88.8	148.5		
	広報誌発行回数	回	2/2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
		単位あたりコスト	1306.5	1199.4	1114.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市民からのスポーツ指導派遣依頼も多く、障害者の水泳指導など社会的意義の高い講座もあり、優先度は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	スポーツに関する基礎的・専門的な知識のあるスポーツ推進員が指導することにより、市民の多様なスポーツのニーズに安価にかつ効率的に対応できる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市民のスポーツ活動の入口として、市民も取り組みやすく有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	参加者や、派遣指導が固定化しつつあり、更なる市民への認知度を高めるため、スポーツ推進委員の取り組み状況やニュースポーツを紹介する広報誌等の発行も行い、市民への周知に取り組んでいるところである。 コロナにより派遣回数や実施事業が減少した。 そのような中でも依頼に応じ市民のスポーツ活動を支援することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	スポーツ基本法に則った法定事業であり、継続実施する。 スポーツに対する市民ニーズの多様化や、数多く生まれるニュースポーツなど、ニーズに的確に対応した活動を引き続き実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ振興協働化事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	森田 哲也				
会計情報	事業コード	650102	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	244	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	スポーツ振興協働化事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	○本市が実施すべきスポーツ振興施策を共に進め市民スポーツと生涯スポーツの振興の役割を担う。 ○本市とスポーツ協会の協働による市民スポーツの支援や全国規模の大会誘致と運営、令和4年度のワールドマスターズ関西2021の開催に向け更なる連携を強化することを目的とする。 ○市民スポーツの活性化や生涯スポーツを普及し本市のスポーツ振興を促進することを目的とする。					
対象者	(一財)福知山市スポーツ協会・全市民		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,835		8,835		9,770		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	8,835		8,835		9,770				
予算財源内訳	① 一般財源	8,835		8,835		9,770				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	8,835		8,835		0		0		
	③ 執行額	8,835		8,835		0		0		
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.25	/	0.00	0.25	/	0.00
	② 概算人件費	1,760		2,000		2,000		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,595		10,835		2,000		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	スポーツ主催事業参加者数	人	1808/2000	946 / 2000	- / 2000	/ 2000	2000
	スポーツ教室参加人数	人	0	0 / 0	/ 0	/ 500	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	スポーツ主催事業開催数	回	7/8	5 / 8	- / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		1262.1	1767.0			
	スポーツ教室実施種目	種目	0	0 / 0	- / 0	/ 16	16
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	スポーツ協会加盟団体を統括し、市民スポーツの普及・高揚のため、スポーツ協会の果たす役割は大きく、事務局の安定化は重要である
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	スポーツ協会加盟団体ほか、市民スポーツ全般を事業対象としており、コストは妥当と考える。 また、平成29年度には5%の削減を行った。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	スポーツ協会加盟団体が事業効果を発現すべく、本市のスポーツ行政の中心的役割を担っており、その活動は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市と共催による福知山マラソンをはじめとした市民参加型のスポーツイベントの実施により、スポーツ協会の果たす役割は大きく、一定の成果を果たせた。 ○本市との共催による市民参加型のスポーツイベントの実施において、スポーツ協会が大きな役割を果たすことができている。 ○令和2年度は多くの事業が新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止とした。 ○令和3年度は、感染症対策も講じ、安心・安全な事業運営のための取り組みが必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市のスポーツ関係団体の統括や、市民スポーツの普及等、スポーツ協会の果たす役割は大なるものがある。 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、市民のスポーツへの関心が高まるなか、本市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」「はじめる」スポーツを推進するため、スポーツ協会が担う役割は重要であり、今後は、更なる市との協働により取り組みを進めていく必要がある。 そのためには、民間資本の活用なども検討して、財源の確保に努めて行く必要がある。 ○福知山市は政策立案、スポーツ協会は実行組織として役割分担し、お互いが協議・連携し進め、総合的に市のスポーツ振興を進める。 ○補助内容の見直しやスポーツ協会事業運営の効率化など、事務事業の改善と同協会における一層の努力は必要であるが、スポーツ協会の事務及び事業が円滑に進められるように、引き続き支援していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	文化財保護啓発事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	640139	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	234・236	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化財保護に関する条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の文化財を未来へとつないでいくため文化財の保護と啓発を推進する				
対象者	市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,671		1,410		1,368		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		1,671		1,410		1,368							
予算財源内訳	① 一般財源	1,671		1,410		1,368							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 86		△ 68		0		0					
	② 配当予算	1,585		1,342		0		0					
	③ 執行額	1,471		1,084		0		0					
	④ 執行率	92.8%		80.8%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.82	/	0.25	0.82	/	0.35	0.82	/	0.35	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	7,185		7,435		7,435		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,656		8,519		7,435		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	文化財指定件数	件	12/1	25 / 1	7 / 1	/ 1	1
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	展示回数	回	4/3	8 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		444.5	183.9	361.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・文化財保護のため指定や普及啓発活動を行うことは、未来へと文化財をつないでいくことにつながり優先度は高い。展示については、社会状況に即した展示を心掛けた。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・調査対象を絞り、まとめて行う効率的な調査の実施がコスト削減に直結している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・文化財保護のための指定及び啓発のための展示は成果目標として利にかなない、かつ実績は適切に把握、測定できている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・未指定文化財の調査研究結果に基づき、文化財保護審議会での審議を経て目標通り年1件以上の指定を行っており適切に業務をおこなっている。 ・展示についても計画どおり実施されている。		
これまでの課題及び今後の方向性	・時代の流れを反映した指定が必要であるとともに、調査対象についても幅を広げる必要がある。 ・市民に福知山市の歴史を知ってもらう機会として、資料の展示や講座の開催は有効な手段であり、今後も取り組んでいく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	640125	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
施策体系	施策コード	020601	施策名	文化財を適切に保護・保存する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	文化財保護法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	範囲・内容等詳細不明な遺跡の実態調査のため測量及び試掘等を行い、調査範囲周辺での開発計画に対応する遺跡の保存保護資料を得る。				
対象者	埋蔵文化財	対象者数	1	単位あたりコスト	6,988.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,000		2,000		2,000		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	2,000		2,000		2,000							
予算財源内訳	① 一般財源	500		500		500							
	② 国支出金	1,000		1,000		1,000							
	③ 府支出金	500		500		500							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	13		68		0		0					
	② 配当予算	2,013		2,068		0		0					
	③ 執行額	2,013		2,063		0		0					
	④ 執行率	100.0%		99.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.60	/	0.00	0.60	/	0.05	0.60	/	0.05	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,800		4,925		4,925		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,813		6,988		4,925		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市内遺跡発掘調査事業		種類	教育費国庫補助金		実績金額	1,000		決算付属資料	22		頁
		市内遺跡発掘調査事業			教育費府補助金			500			32		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	調査件数	件	1/1	1 / 1	1 / 1	/ 1	0
	保存処理点数	点	/	0 / 0	0 / 0	/ 1	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	調査件数	件	1/1	1 / 1	1 / 1	/ 1	0
	単位あたりコスト		2112.0	2013.1	2063.0		
	保存処理点数	点	0	0 / 0	0 / 0	/ 1	0
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	埋蔵文化財の保護の観点からも事業実施の必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	直営ではあるが、事業に必要な業務については複数業者から見積もりを徴取するなどコスト比較をおこなっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	埋蔵文化財の範囲内容把握をすることにより、今後の開発事業に迅速に対応できる。調査規模や調査期間などから年1回実施するのが適切であり、成果目標は理にかなっている。また、実績においても適切に把握・測定できている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	埋蔵文化財の範囲内容が確認されることにより、開発行為から埋蔵文化財保護のため方針を立てることができ、市民の貴重な財産である埋蔵文化財の保護につながる。また、調査により得られた資料は市民が郷土学習の資料として活用することができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後の開発計画に対応するため、令和3年度も引き続き周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲内容確認の発掘調査を行う必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財資料移転事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	640123	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画 福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☐ 継続中 ☒ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公共施設マネジメント計画に基づき、文化財資料収蔵施設の統廃合を進める。市内各所に点在している資料を一括管理できるとともに、集約した資料の分類・整理を行う。												
対象者	統合文化財施設						対象者数	7		単位あたりコスト	443.4		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・集約した資料の分類・整理(埋蔵文化財コンテナ50箱、民具資料500点、書籍1000点)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	報酬	542		臨時職員報酬									
	職員手当	36		臨時職員手当									
	共済費	2		臨時職員労災保険									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	620		1,636		0		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	620		1,636		0							
予算財源内訳	① 一般財源	620		1,636		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 7		0		0		0					
	② 配当予算	613		1,636		0		0					
	③ 執行額	595		579		0		0					
	④ 執行率	97.2%		35.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.30	/	0.10	0.30	/	0.05	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,650		2,525		0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,245		3,104		0		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	施設を統合した数	件	0/0	0 / 0	0 / 0	/	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	移転件数	件	0/0	1 / 1	0 / 1	/	0
	単位あたりコスト		0.0	595.5			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・公共施設マネジメント計画に基づき実施している事業でありニーズ・優先度ともに高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・資料整理にかかる人件費は妥当なコストである。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	・移転予定物件の実施ができていない
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新たに公文書の保管と三和支所保管資料の取り扱いについて総合的に検討したうえで移転案をまとめる必要が生じ、令和2年度の施設移転については見送った。		
これまでの課題及び今後の方向性	公文書の保管、三和支所保管資料の取り扱いについて検討結果をまとめたうえ、移転先を決定し、資料の収蔵と保管に努める必要がある。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財整理事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳							
会計情報	事業コード	640107	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
施策体系	施策コード	020601	施策名	文化財を適切に保護・保存する												
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針										
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・文化財資料の整理作業 ・埋蔵文化財収蔵庫(天津)及び文化財収蔵庫(三和)の維持管理費 以上2点を事業目的とする。				
対象者	文化財資料	対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,283		1,122		1,088		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		1,283		1,122		1,088							
予算財源内訳	① 一般財源	1,283		1,122		1,088							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 4		0		0		0					
	② 配当予算	1,279		1,122		0		0					
	③ 執行額	1,055		858		0		0					
	④ 執行率	82.5%		76.5%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.40	/	0.10	0.35	/	0.15	0.35	/	0.15	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,450		3,175		3,175		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,505		4,033		3,175		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	資料の保管状況	—	異常なし	異常なし / 異常なし	異常なし / 異常なし	/ 異常なし	異常なし
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	ミニ企画展	回	7/2	2 / 2	0 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		90.1	527.7			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・文化財資料は地域資源である。この地域資源の保管は市民の財産であり今後の活用が期待できる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	・展示回数が多ければ良いものでもなく、受益者との負担関係、単位あたりコストを明確にするのは難しい
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	・資料の保管は文化財保護の基本であり成果目標は適切である ・コロナウイルス感染拡大防止に関わりミニ企画展の実施ができなかった
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	文化財資料の整理作業及び文化財資料を保管する施設の維持管理は後世に貴重な文化財を伝え残すのに不可欠なものである。また、資料の劣化、散逸を防ぎ後世に伝えるためにも有効である。		
これまでの課題及び今後の方向性	・施設の老朽化に伴う設備の課題、維持管理、修繕費等の発生。 ・保管資料の利活用を図るため展示や資料の貸出を更に進める必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	日本の鬼の交流博物館運営事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	640106	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	234	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市日本の鬼の交流博物館条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開												
対象者	市民						対象者数	77,600		単位あたりコスト	0.2		
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス㈱、㈱クリア、㈱光栄ビルメンテナンス、タキノデンキ㈱、姫路ナブコ、西岡電気設備、(社)福知山市シルバー人材センター												
事業概要 (箇条書き)	・施設の管理・運営 ・来館者への案内、レファレンス												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	3,395	消耗品・光熱水費・印刷製本費・修繕料										
	役務費	141	建物共済・電話料・浄化槽法定点検										
	委託料	1,316	機械警備・浄化槽保守点検・床清掃・除雪・除草等										
	使用料及び賃借料	304	AED・複写機・印刷機等										

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,947		5,273		5,492		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		6,947		5,273		5,492							
予算財源内訳	① 一般財源	3,079		3,073		3,300							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	3,868		2,200		2,192							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	6,947		5,273		0		0					
	③ 執行額	6,728		5,156		0		0					
	④ 執行率	96.9%		97.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.30	/	3.20	0.35	/	3.05	0.35	/	3.05	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	10,400		10,425		10,425		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		17,128		15,581		10,425		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	日本の鬼の交流博物館使用料		種類	教育使用料		2,693		決算付属資料	12		頁
			文化財関係図書・図録			物品売払収入		実績金額			183		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入館者数	人	10611/10000	7483 / 10000	10405 / 10000	/ 10000	10000
	取材等に伴うマスメディア登場回数	回	39/25	26 / 25	43 / 25	/ 25	25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	特別(企画)展の回数	回	3/3	5 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		2018.0	1345.6	1718.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・鬼をテーマとした地域づくりの拠点である ・現状では営利目的の運営は厳しい ・地域づくりの手段として必要な施設であり管理運営は優先度が高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・入館に際しては入館料を徴収しており受益者負担は妥当である
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・活動実績については年3回の展示を行うことができた。 ・日本中の鬼に関する資料を収集し、情報発信を行うことができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市の地域資源である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、報道関係・冊子等の取材、資料の貸し出しに関する問い合わせ等も多く、福知山市の文化的施策としてのPR効果は大きい。時世をとらえた展示内容により、指標目標値を上回る数値を得ることができたことは大きく評価できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	・施設の老朽化に伴う設備の課題、維持管理、修繕費等の発生 ・専門的職員の配置		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	夜久野町化石・郷土資料館運営事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳						
会計情報	事業コード	640105	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	232・234	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める												
計画期間	開始年度	昭和53年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針								
根拠法令等	夜久野町化石・郷土資料館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示					
対象者	市民		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	717		729		802		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		717		729		802						
予算財源内訳	① 一般財源	675		683		756						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	42		46		46						
決算情報	① 流充用額	11		0		0		0				
	② 配当予算	728		729		0		0				
	③ 執行額	728		709		0		0				
	④ 執行率	100.0%		97.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.15	/	0.15	0.15	/	0.15	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	1,575		1,575		1,575		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,303		2,284		1,575		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野町化石・郷土資料館使用料		種類	教育使用料		実績金額	31		12		頁
		電柱占用料(夜久野町化石・郷土資料館)			教育使用料			12				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入館者数	人	603/1000	693 / 300	350 / 500	/ 500	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	体験学習と企画展示	件	1/1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		1525.0	728.2	709.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	近隣にはこれだけ数多くの化石の展示を行っている類似施設はなくニーズは高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・土・日・祝日の開館とし、運営の効率化を図っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・地元稚児野遺跡の発掘調査により出土した36,000年前の石器の展示を行うことができたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため体験学習会は実施できず
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	化石という地域資源を活かした施設としては特徴的である。目的及び指標は達成している。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化に伴う設備、専門的人員の確保、資料の保管など課題が多い。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財保全事業												
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課						所属長	西村 正芳				
会計情報	事業コード	640103	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	232	頁
施策体系	施策コード	020601	施策名	文化財を適切に保護・保存する									
計画期間	開始年度	平成4年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化財保全補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国・府・市指定文化財の保全・保護を図り、後世に貴重な文化財を伝える。				
対象者	国・府・市指定文化財	対象者数	264	単位あたりコスト	33.9
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,800		1,800		1,800		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	1,800		1,800		1,800							
予算財源内訳	① 一般財源	1,800		1,800		1,800							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	1,800		1,800		0		0					
	③ 執行額	1,102		1,800		0		0					
	④ 執行率	61.2%		100.0%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.83	/	0.20	0.83	/	0.20	0.83	/	0.20	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	7,140		7,140		7,140		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,242		8,940		7,140		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	維持管理・修繕未解決事項	件	0/0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	維持管理・修繕実施件数	件	17/12	11 / 12	9 / 10	/ 9	—
	単位あたりコスト		160.5	100.2	200.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・維持管理、修繕のニーズは高い ・財団等の補助はあるが確実性は低い ・後世に伝えるため文化財の保護・保存ため優先度は高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・所有者負担は全事業費の1/4以上であり妥当な割合である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・事前相談などで次年度以降の見込みを成果目標数値としていることから、成果目標は理にかなっている。また実績は実績報告書の提出もあり適切に把握できている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	貴重な文化財を後世に伝え残すことは地域資源として次世代への投資ともなっており、補助事業としては有効である。達成状況については、年度ごとに増減があるため件数としての評価は難しい		
これまでの課題及び今後の方向性	補助事業の実施により、貴重な文化財を保護し未来へと伝えることができ、今後も継続して実施していく。未指定文化財への補助について京都府の補助制度を有効に活用できるよう周知の啓発を図っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	丹波漆等伝統文化活用・支援事業															
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化スポーツ振興課							所属長	西村 正芳						
会計情報	事業コード	230288	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	09 文化振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	76	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める												
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針									
根拠法令等	文化財保護法、漆掻き職人移住支援補助金交付要綱、丹波漆苗木購入費等補助金交付要綱、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市の伝統文化の保存・継承を行う団体の支援を行うとともに、普及啓発活動を団体と協働で実施し、本市の誇る伝統文化のPRを行う。 丹波漆の文化的特性、伝統を活かしながら継承するとともに発展させる。 またシティプロモーションの側面からも、本市の顔となる文化・産業の育成と振興およびブランド化を進める。					
対象者	市民		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,363		950		2,397		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		1,603		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	2,363		2,553		2,397								
予算財源内訳	① 一般財源	200		600		1,658								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	2,163		350		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		1,603		739								
決算情報	① 流充用額	12		0		0		0						
	② 配当予算	2,375		2,553		0		0						
	③ 執行額	2,354		1,750		0		0						
	④ 執行率	99.1%		68.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.24	/	0.00	0.31	/	0.00	0.31	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,920		2,480		2,480		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,274		4,230		2,480		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	丹波漆等伝統文化活用・支援事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	総務費府補助金		実績金額	762		決算付属資料	26		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	漆生産量	g	1,400/5,300	1,400 / 5,300	3,655 / 5,300	/ 5,300	5,300
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	漆植栽	本	290/230	150 / 220	130 / 220	/ 220	220
	単位あたりコスト		10.7	15.7	13.5		
	後継者の育成	人	1,400/5,300	2 / 1	1 / 1	/ 1	0
	単位あたりコスト			1176.9	1750.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市を代表する伝統文化である丹波漆、丹後和紙、由良川藍技術の保存と継承、振興のため必要な事業である。 これらの伝統文化をPRすることによって、福知山市の認知度向上などにつなげていく必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	丹波漆、丹後和紙、由良川藍について保存、継承に取り組む団体の活動に対し、最小限の支援を行っている。 丹波漆については、漆を増産するには継続的に植栽を行う必要があるため、継続的な支援を行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	漆の植栽は、獣害対策を実施しながら拡大している。 販路拡大については、販売委託を行う店舗や中国上海にある京都府アンテナショップなどに出品するなど進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	■丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには継続的な支援が必要である。市の支援及び植栽地の確保等により漆木の増加、生産拡大に繋げている。 ■令和2年度はコロナ禍もあり、展示会への参加を見送ったが、販売委託を行う店舗の開拓や、中国上海にある京都府のアンテナショップへの出品を果たすなど販路の拡大に取り組んだ。 ■新設した漆かき職人移住支援補助金、丹波漆苗木購入費補助金により、植栽の拡大に務めた。		
これまでの課題及び今後の方向性	■NPOが進める漆苗の植栽・園場の管理を支援し、将来的に独立した維持・経営が成り立つよう連携を図る。 ■製品、商品作りに携わる職人を育成し、丹波漆のブランディングを構築するための商品化を進める。 ■伝統的な漆製品とともに新たな漆製品の開発・企画、販売等を進め、展示会等に出品しながらより魅力的な商品づくりを進めていく。 ■丹後和紙、由良川藍についても、保存、継承に取り組む団体への支援を継続していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)